

国際研究集会派遣報告



2026年度 国際研究集会派遣会員報告書

派遣集会：European Congress of Radiology (ECR)

開催場所：Vienna, Austria

開催期間：March 4-8, 2026

ECR2026 参加報告

派遣員 乾稜太郎 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

発表の概要

私は、European Congress of Radiology 2026 (ECR2026)にて、“Changes in incident reporting with the use of a contrast media extravasation detection device in computed tomography examination”というタイトルで、当院のCT造影検査における造影剤皮下漏出のインシデント報告について検討した結果を、電子ポスターにて発表した。

当院では2022年4月から赤外線センサーを用いて造影剤の皮下漏出を検知する機器「モレ検知サポートLD」を導入したが、機器導入後は従来よりも早いタイミングで漏出を検知して注入を停止することができるようになった。また、軽微な漏出であっても機器が拾い上げ、適切な事後処置につなげることができるようになった。

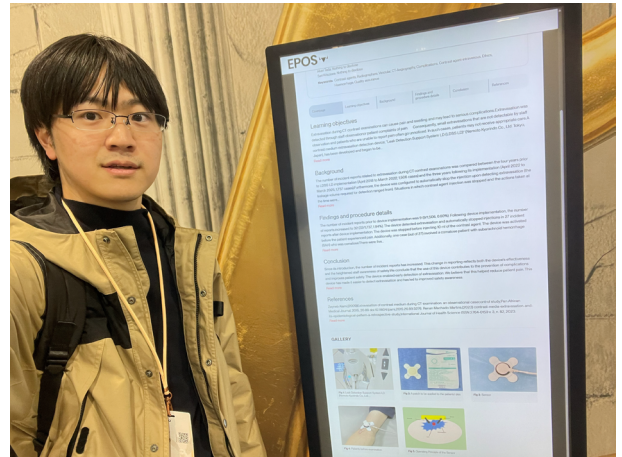


Photo EPOS (電子ポスター) 会場にて

参加国際集会について

ECR2026は、欧州放射線学会が主催する国際学会で、教育性の高さや多職種連携、AI倫理・サステナビリティといった視点を重視している傾向にあると感じている。特に本大会では「AI」「次世代CT」「持続可能性」を軸に、“放射線科の未来の実装”を強く意識された内容になっていた。

学会への還元

ECR2026への参加は、非常に貴重な経験となった。世界最先端の研究や臨床応用に触れることで多くの刺激を受けた一方で、自分の知識不足、勉強不足も痛感することとなった。今後も研究を続けて国内外の学会

に積極的に参加し、更に知識や技術を高めていきたい。

謝辞

ECR2026への参加にあたり放射線技術学会より国際研究集会派遣会員として助成いただきました。心より御礼申し上げます。助成金は渡航費として使用しました。

また、日頃より研究にご理解ご協力をいただき、快く送り出してくださった横浜市立脳卒中・神経脊椎センターの皆様にも深く感謝申し上げます。